



國労せんたい

こくろうせんたい
FAX版

号外
2011年4月20日
発責 橋本 昭二
編責 武田 昌仙

東日本大震災

仲間の気持ちを届けたい

全国から贈られた義援金を被災者へ

地方本部は4月11日に闘争委員会（支部代表者会議）を開催。各支部の代表者らと協議し、全国の仲間から届けられた義援金を被災した組合員にお見舞いとして活用することを決定した。

基準の選考については議論の結果、床上浸水以上の被害を受けた組合員とし、宮城県支部には24人の方に対して、また仙總支部には6人の方に対してのお見舞い金が準備され、地本部から両支部に

手渡された。
なお、義援金の扱いに対しても、今後も地方本部は各支部に

地方本部は4月11日に闘争委員会（支

部代表者会議）を開

催。

いに相談し、被災が明

らかになつた方々に

お見舞いとして届け

るとしている。

地本から各支部に渡す

仲間のメール報告

東北自動車支部前委員長の大倉満さんは、自宅が福島原発の10キロ圏内のため現在も避難所生活を強いられています。大倉さんは福島市内の2箇所の避難所を経て、現在は二本松市内岳温泉「あづま館」内の東三番館に避難していました。

大倉さんは話の途中に咳き込むなど、長期の避難所生活の影響が肉体的にも精神的にも出ているのではないかと感じられました。（中島副委員長より）

激励と支援米

米子地本から

東日本大震災により、多くの方が被災され、亡くなられた方、未だ行方不明の方、また被災状況も把握できていらないなど、この震災の大きさに心を痛めておりま

す。仙台地本の皆さんも亡くなられたと聞いておりま

す。仙台地本の皆様の復興の取り組みに心より敬意を表します。米子地本も本

部・エリア本部とともに、早期復興に向けてまいと考えています。また、国労組合執行委員長小村宗一

九州本部からは義援金

国労仙台地方本部執行委員長 橋本昭二殿

今回の東日本大震災で、甚大な被害に遭われた組合員・家族の皆様に心からお見舞い申し上げます。

今、国労としても義援金カンパ、救援物資など取り組まれている最中であります。九州本部執行委員（6名）と九州本部青年・婦人・家族行動委員会から、僅かな金額ですが義援金を送らせて頂きます。

一日も早い復興をお祈りしております。頑張ってください。

2011年4月5日 国労九州本部執行委員一同

